

気候変動問題の解決のための、 再生可能エネルギーの急速な普及と 金融機関の投融资方針の導入に向けた 調査・普及啓発活動

〒110-0005
東京都台東区上野5-3-4 7F
電話:03-5826-8737
E-mail:info@aseed.org
http://www.aseed.org/



ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発



気候変動をテーマにしたセミナーの様子

セミナーの延べ参加者数 **168人**

メッセージ数 **370通**

今年度計画の達成度 **70%**

活動の全体目標に対する
達成度 **30%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

「ESG投資」や「電力構成」など専門的な分野をわかりやすく市民(特に若者)に伝えることに苦労した。

■ 工夫した点

マンガの使用・青年団体リーダーの登壇・楽しい雰囲気等、全体として若者にも抵抗のない言葉・デザインを重視した。



課題

日本国内の再生可能エネルギー普及が不十分であり、日本の金融機関の投融资実態もパリ協定の目標と整合しておらず、気候変動対策の遅れが危惧されている。

目標

化石燃料(特に石炭関連)発電を減らし、再生可能エネルギーを急拡大させるために、市民の電力消費行動と金融機関の投融资行動をパリ協定と整合化させる。

活動内容と成果

●環境や地域に配慮した電力会社への選択を促すキャンペーン「このデンキがヤバイ」をスタートさせ、フォーラムやWebサイトで電力会社切替を呼び掛けた。●機関投資家、ビジネス層向けに、気候リスクとESG投資の重要

性をテーマにしたセミナーを開催した。

●金融機関の気候変動問題に対する影響を啓発するための野外イベント出展・冊子制作を行い、370の署名(メッセージ)をもらった。●金融機関を評価する「フェア・ファイナンス・ガイド」では、7行中6行がスコアアップし、3行は気候リスクへの対処を改善した。



野外出展で金融機関へのメッセージを集める

今後の展望

近年は再生可能エネルギーの普及に関しても、景観や廃棄物の問題などが浮上している。青年リーダーや専門家と今後のエネルギーシフトの「公正な進め方」を追求し、主に大手新電力会社へ提言していきたい。